



SEISHU WAY

SEISHU Senior High School  
School Life Profile Paper, 11 月号  
SEISHU WAY vol.02 November 2020

02

青洲高校学校通信

生み出すつながり  
創り出すあした



発行 山梨県立青洲高等学校

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門1733-2 tel.055-272-1161 / fax.055-272-1164

URL. <http://www.seishu.kai.ed.jp/> Mail. [info@seishu.kai.ed.jp](mailto:info@seishu.kai.ed.jp)

発行日: 令和2年11月19日 編集: 青洲高等学校 広報委員会

3年生から後輩達へ、1年生から先輩達へ

# 文化局 Culture Clubs ずっと「キラキラ」笑顔で ～思いつなぎます。～

音楽部

歌を、音楽を楽しむ

志賀 瑞樹 (3年 早川中出身)

私は音楽をすることが好きで、先輩の歌っている姿に憧れて音楽部に入りました。辛いことや大変なこともありましたが、多くの仲間がいたから頑張ることができました。どんなに辛くても、歌っていて楽しいと思える時が訪れると思います。皆で鼓舞し合い諦めずについて欲しいと思っています。これから先も歌を楽しんで頑張れ!

つなぐ

1年生一同

私たち青洲高校音楽部は計18人で市川高校音楽部の先輩方と一緒に活動をしています。今年度はコロナ禍で例年どおりの大会、定演はできませんでしたが、私たちは来年、再来年に市川高校音楽部の伝統を伝えていかなければならないと日々感じています。先輩方が今まで創ってきた伝統を守る。その一心でこれからの部活動に全員で励みます。



私たちの個性を表す“華道”

華道部

佐野 優花 (3年 押原中出身)

華道では花の生け方が大体決まっています。しかし、ただ決まった生け方を生けるだけが華道ではありません。人によって、花の向き、長さ、間隔などが少しずつ変わっていきます。華道とは個性を花で表現することができるものです。私はこんな素敵な華道をこれからも後輩達に繋げていって欲しいと思っています。

私が以前バスケットボール部の顧問をしていた時に、TEAMは「I」[I together (一緒)]、「E」は「Everybody (みんな)」、「A」は「Achievement (達成)」、「M」は「More (より以上)」という意味がある。つまり、みんなで心を一つにしてこそ、さらに高みを目指せるということを常々、生徒たちに言い続けていました。自分ひとりでは出来ないことを協力し、補い合い、やり遂げる、そんな場面が多ければ多いほど、素晴らしいチームであり、素晴らしい学校だと思っています。生徒の皆さんには、部活動の先輩たちの夢や想いをしっかりと受け取って、「人は人なか、木は木なか」の教えのように勝ち負けだけじゃない、人として成長できる素晴らしい部活動(TEAM)を築いてくれることを期待しています。

今年、新型コロナウイルスの影響とはいえ、運動部・文化部ともに様々な大会などが中止となり、目標に向かって努力を重ねてきた市川高校の3年生にとって残念な年となってしまいました。3年生の皆さんには、部活動を通して成長した自分に自信と誇りを持つとともに自らが生かせることができなかつた夢を部活動の後輩達たちに託してほしいと思います。さて、世界遺産にも登録され、宮崎駿監督のアニメ「もののけ姫」の舞台イメージのモデルとしても有名な鹿児島県にある屋久島という島を皆さんは知っていますか。この屋久島には、「縄文杉」は3000年を超える木もあるそうです。この島には、「人は人なか、木は木なか」という言葉が言い伝えられています。杉の木は、杉林の中でしか育たない、周りの木が切り倒されてしまつと、森全体の調和が崩れ、大きな杉が育たず、やがて枯れてしまつと、木は木の中でこそ生きて育つ。これが「木は木なか」と言われる所以です。このことから「人は人なか」という言葉も想像できると思いますが、人も人のなかでこそ育つ、つまり、立派で大きな屋久杉は、実は周りの杉に囲まれてきたおかげで、台風など厳しい自然環境から守られ、助け合いながら、大きく成長しているように、人も周りに囲まれて、お互い守り合い、助け合いながら、人として成長していくということですね。

書道部

良さを生かして!

望月 京子 (3年 増穂中出身)

2年生とはパフォーマンス大会などで何度も一緒に作品を作り上げ、1年生とは市川高校の「Good bye まなびや プロジェクト」を通して、一緒に部活動に取り組んできました。気軽に部活に参加しながらも、作品作りには本気で取り組むというその姿勢を大切に、これからも様々な場面で活躍してください。書道部3年生一同これからも応援していきます。

“書”との向き合い方

都築 穂夏 (1年 六郷中出身)

少人数の部活動ではありますが、芸術文化祭や書道パフォーマンスに向け、時にはみんなで、時には個人で精一杯「書」と向き合っている先輩方の姿が印象的でした。1年生も2人と少ない人数で大変なこともあるかもしれませんが、先輩たちのような美しくきれいな「書」の作品を作り上げられるように頑張ります。

美術の力

美術部

高津 翼 (3年 玉穂中出身)

後輩へ 美術を通して得られるものは数多くあります。この部活は週に一回ですが、その一回一回を大切にしてください。新しい校舎、頼もしい先生方、たくさんの友人、こんなにも素晴らしい美術部は他の学校にはないと思います。美術は上手いかどうかではありません。いかに自分らしさを表現するかどうかです。頑張ってください。

美術部

飯野 奏 (1年 甲西中出身)

青洲高校が始動しておよそ半年、市川高校の先輩方とともに部活動に励んできました。最初は手探りで取り組んできた1年生も先輩方の優しい指導の下、徐々に慣れてきています。自分のペースに合わせて自分だけの作品を創作していくことができます。自由に好きなように活動するのが美術部の特別な良い所です。

校長室だより 2  
[連載]

人は人なか、  
木は木なか



青洲高等学校長  
逆瀬川 慶浩  
Yoshihiro Sakasegawa



## 吹奏楽部

### みんならしい音楽を

岸本 奈々 (3年 玉穂中出身)

当たり前に練習ができ、本番を迎えられることの有難さを知りました。企画長として準備をしていた定期演奏会が中止になった悔しさは忘れません。どんな小さなステージも全力を尽くすことが、市川高校吹奏楽部のモットーです。新体制になっても、毎日の練習を大切に、みんならしい豊かな演奏を続けてほしいです。

### 引き継ぐ演奏

浅川 さくら (1年 増穂中出身)

私たち青洲高校1年生は憧れの市川高校の先輩たちに一歩でも近づけるよう日々練習しています。今は、まだまだ伸びしろだらけですが、伝統である呼吸練や基礎練、知識などを青洲高校一期生として、この先の未来に継続していきます。そして、伝統を大切にしながらも、新しい挑戦を重ね、より良い部になるよう頑張ります。

### 感謝を忘れずに

吉田 絢音 (3年 城南中出身)

今年の1年生はとても活動的でした。私たちが1年生の時は個人活動が主で、平日の活動は全くなかったので……。後輩たちはセンスがよい人が大勢いるので、もっと評価されることを期待しています。撮影の時に積極的に被写体に近づいていける人が増えてほしいです。縁を大切に伝える写真を撮り続けてください。

### 先輩のように

望月 ナナ (1年 身延中出身)

先輩方は良い作品を撮るために努力しています。今年度の秋季審査会では、先輩方の優しいアドバイスで、1年生からも3作品の入選が出て、団体優勝することができました。私はそんな先輩方を尊敬しています。私もそうなれるように努力し、楽しみながら活動していきたいです。作品ももっと良いものが撮れるよう頑張ります。

## 茶道部

### 茶道と向き合うということ

杉本 花菜 (3年 田富中出身)

他の部活動に比べて、活動内容はすごくこじんまりしていますが、私たちが受け継いできたアットホームな雰囲気は茶道部の良いところだと思っています。そして、茶道に向かうときは真剣に。一期一会を大切に、一碗一碗気持を込めて点てることを忘れずに、これからも日々精進していきましょう。

### 教えていただいたもの

小松 愛奈 (1年 若草中出身)

短い期間でしたが、たくさんの方の事を先輩たちから学びました。茶道のことを何も知らない私たち2人にお茶をたてる道具から上手くたてるためのコツ、出し方や片づけ方など、わかるまで一緒にしてくれたり、教えてくれたりして、とてもうれしかったです。本当にありがとうございました。

## ユネスコ部

### 可愛い後輩へ

瀧澤 里緒 (3年 増穂中出身)

覚えていますか、今年の主張大会を。今年は自由参加にもかかわらず、部員の半数が出場、残り半数も助言をくれ、全員で挑みました。こうやって全員のやる気がひとつになったのはユネスコ部史上初です。みんな、今年はすごいぞ!きっと来年からも大丈夫です。素直に元気に適度に、ユネスコ部を楽しんでください。Good Luck!

### 優しい先輩へ

土橋 優乃 (1年 三珠中出身)

入部した時は、1年生が私一人だけで不安だった中、先輩たちが優しく声をかけてくださったお蔭で部活動に行くのがとても楽しくなりました。ユネスコ主張大会の際的的確なアドバイスをくださったので、以前よりも成長できました。これからも、ユネスコ部をよりよい部活動にできるよう努めていきます!

### 部の後輩へ

萩原 みのり (3年 城南中出身)

私たちESS部の3年生は後輩たちが入ってきてくれるのが正直不安でした。でも、たくさんの個性あふれる後輩たちが入って来てくれてとても嬉しかったです。人数が増えたことで今までできなかった活動ができるようになって、とても充実した時間を過ごすことができました。これからも楽しみながら英語力を磨いていってください。

### これからの繋げる

海野 亜実 (1年 甲西中出身)

英語への苦手意識が高かった私たちに優しく教えてくださりありがとうございました。先輩方との活動はとても楽しく、英語を学ぶことが好きになりました。短い間でしたが、一緒に英語を学ぶことができて嬉しかったです。これからもゲームなどをしながら英語に親しみ、先輩方のような英語力を身につけられるよう頑張りたいです。

## 未来の後輩達へ

## 家庭部

### 糸と糸で繋ぐ

小林 璃子 (1年 増穂中出身)

家庭部は青洲高校の1年生のみで結成されています。そのため、先輩はいませんがしっかりと市川高校の伝統を引き継ぎ、伝えていきたいと思えます。料理や裁縫の力で、たくさんの人を応援できれば嬉しいです。これからも家庭部全員で仲良く楽しく活動をしていこうと思います。

### 自分たちで歴史を創っていく。

野中 紅葉 (1年 白根巨摩中出身)

私が所属している商業研究部は、市川高校にはもともと存在しない部でした。この青洲高校とともに新しく出来た部活です。まだ活動歴1年にも満たない部ですが、日々商業に関する理解を深め、一から伝統の土台をつくっています。まっさらな歴史に最初の一文字を刻める機会は滅多にありません。共に刻んでくれる人を待っています。

## 工業研究部

### ここが工業の見せどころ

川口 航平 (1年 甲西中出身)

皆さん、初めまして、工業研究部部長の川口航平です。工業研究部では資格を取るための勉強やロボコンへのエントリー、春からは峡南高校の機械がこちらに移されるため、学園祭での出し物を作ったりすることができるようになります。今年はできたばかりなので、歴史は浅いですが、これからどんどん活動していく予定ですのでよろしくお願ひします。

## ESS部

## 商業研究部

# 体育局 Sports Clubs

## 3年生から後輩達へ、1年生から先輩達へ

### 空手道部

#### 部全体で楽しく

庄子 凌永 (3年 甲西中出身)

空手道部の良いところは先輩と後輩との距離が近いところだと思います。先輩が後輩に指導することがよくあり、技術が向上すると同時にすぐ親しくなることができ、部全体の雰囲気がとても良いです。後輩には自分たちがしてもらったように後輩に指導できるように頑張ってもらい、強い部を作ってもらいたいです。

#### 空手道部

小倉 康平 (1年 南部中出身)

空手道部には2つの良さがあります。一つめは先輩と後輩の壁がないこと、二つめは先輩が後輩に技術を教えてくれることです。3年生にはコロナの影響で2ヶ月の間でしたが、アドバイスをもらい、お世話になりました。少人数になりさみしくなりましたが、2年生と力を合わせて空手道部の良さを引き継いでいきます。

### 1. 2年生へ。～私たちの最後の思い～

#### 弓道部

4人の3年生より

今日は私たち3年から弓道において大切なことを伝えたいと思います。千射万箭。1本1本新たな気持ちで丁寧に射ることを意識しましょう。そして、自分の弱点を見つけ、常に改善していきましょう。動画を撮ることはとても効果的です。一緒に練習しているのは敵ではなく仲間です。共に切磋琢磨して素敵な弓道ライフを！

#### 先輩方から学ぶ

四條 桜恵 (1年 南部中出身)

弓道部の先輩方へ。いつも私たち1年生の射を見てアドバイス、指導をしてくださり、ありがとうございます。また、技術面だけでなく、礼儀や道具の手入れの仕方など、弓道をする上で大切なことを沢山教えてもらっています。先輩方から多くのことを学び、上達できるよう頑張ります。これからもよろしくお祈りします。

### 野球部

#### 後輩に向けて

田中 悠介 (3年 身延中出身)

私たち野球部は、2年生10人、1年生15人で、県でベスト8を目指しています。練習は一方的ではなく、生徒が考えたり、短い練習時間だからこそ質を高めたりして取り組んでいます。また、テスト週間は勉強する時間が十分に確保されています。これからも良い伝統を引き継いで、よりよい成績を残して欲しいと願っています。

#### 受け継ぐ伝統

依田 裕斗 (1年 甲西中出身)

僕たち野球部は、市川・増穂商業・嶺南高校の3校の先輩方と部活動することができました。3校の先輩方からは技術面やその他の細かなことをアドバイスしていただきました。また、先輩方の背中を見て多くのことを学ぶことができました。これからは3校の歴史・伝統を自分たちが受け継いでいきます。

### サッカー部

#### 後輩に向けて

楠間 隆弘 (3年 笛南中出身)

市川高校のサッカー部の良さは縦の関係の良さです。先輩も後輩も仲良く活動しています。また、OBの人も練習に顔を出してくれます。しかし、先生にはまだまだ伝統がないと言われていました。自分たちや先輩方が残してきたものをこれからも継続させ、足りない部分を新しい伝統としてつくってほしいです。

#### 伝統

平山 脩人 (1年 田富中出身)

私たちは先輩達から基本的なあいさつやサッカーに対する姿勢など、たくさんのお話を学ばせていただき、人として成長することができました。サッカーに関しては楽しさの中に厳しさがあり、とても充実した部活動になりました。これからは先輩たちが築いてきた伝統を引き継ぎ、さらに発展させていきたいと思えます。

### 受け継がれる伝統

#### 男子ソフトテニス部

新倉 海音 (3年 甲西中出身)

私たち男子ソフトテニス部は、「元気が一番の部活」として伝統を引き継いできました。そして、来年で市川高校としての部は幕を閉じてしまいます。しかし、OBの方々や私たちが築き上げてきた伝統は途切れることなく続いていくと思うので、青洲高校とともにこれからも頑張ってください。

#### 紡ぐ

原川 来唯 (1年 市川中出身)

市川高校の伝統は、練習中一人一人が声を出し盛り上げていくことです。練習中から声を出していくことで、僕たちは試合でも声を出し、自信を持ってプレーすることができてきました。この伝統は、青洲高校の伝統にもしていきたいです。これからも先輩たちと切磋琢磨していきたいと思えます。

### 女子ソフトテニス部

#### 輝く未来へ

遠藤 遙香 (3年 増穂中出身)

みんなも、これからたくさん悩み、落ち込んでしまうことがあると思うけど、恥ずかしいことでも悪いことでもないよ。みんななら、その経験をバネにさらに大きく飛躍することができる。女テニらしくソフトテニスそのものを楽しみながらも、自分のため、仲間のために成長してね。みんなの未来がより一層、輝くものになるように、応援しているよ。

#### 偉大なる先輩

大窪 梨紗 (1年 楡形中出身)

私の部活動の先輩は、試合中どんな困難があっても、笑顔を忘れずプレーしていて、その姿に心を打たれました。上手い人ほど、気配りができて、率先して部の仕事をしています。その姿を見て、見習わなければならぬと常に思っています。そのような先輩達が創り上げてくれた伝統を引き継ぎ、新たに青洲高校の伝統を創りたいです。



# 「キラキラ」をバトンパス

## ～託します。受けとります。～

テニス部

楽しむことを忘れずに

渡邊 拓夢 (3年 市川中出身)

私たちには専門の指導者がいなかったの、自分たちで練習の内容を考え、互いにアドバイスをし、技術を向上させてきました。その中で仲を深めていき、楽しく活動することができました。今年から専門の先生が指導してくれていると思いますが、仲間同士で教え合い、楽しむことを忘れず頑張ってください。

伝統をつくる

田辺 晴 (1年 玉幡中出身)

3年生の皆さん、お疲れ様でした。3年生と練習などをしたかったのですが、新型コロナウイルス感染症の影響でできなかったのが残念です。先輩方から多くのことを学ぶことはできませんでしたが、2年生の先輩達からいろいろなことを学び、青洲高校として市川高校の伝統・歴史も背負い頑張っていきたいと思います。

良き伝統をチーム全員で

磯貝 駿 (3年 山梨北中出身)

自分たちが卒業すると、今の2年生は市川高校最後の部員となり、プレッシャーや責任感など周りからの期待が大きくなると思います。しかし、バスケ部の「日本一、ひたむきに、爽やかに、全力で」を全員が体現すれば、強いチームになると思うし、今までの伝統を次の青洲高校にも引き継げられるように頑張ってください。

感謝を胸に

馬場 巧実 (1年 敷島中出身)

私たち1年生は、この半年間で先輩方から多くのことを学びました。試合や練習の中では、常に全力のプレーで引っ張っていただき、学校生活の中では人としての常識と思いやりを教えてくださいました。先輩たちから学んだこと、教わったことを忘れず、青洲高校一期生として結果を残せるように頑張っていきたいと思います。

Keep Smile

高木 理紗 (1年 春日居中出身)

新型コロナウイルス感染症の影響で大会が中止となり、思うような結果を出すことはできませんでしたが、増徳商業バレー部の意地はここにあり続けます。青洲高校という名前になったこれからも歴代の先輩方が残してくださったこと、増商バレーを進化させ続けられるように、チーム一丸となって頑張っていきます。

女子  
バスケット  
ボール部

後輩へ

加々美 佳甫 (3年 若草中出身)

女子バスケットボール部は、部員全員の仲がとても良く居心地が良い部です。日々の練習に励みながら仲間との絆を深めてきました。これから部を引っ張っていく1、2年生には、この良い雰囲気を途絶えさせることなく継続して欲しいです。そして、部活動とおして様々な経験をして仲間と最高の思い出をつくってください。

市川から青洲へ

三浦 加菜 (1年 市川中出身)

今年は3年生と活動する期間が短かったですが、明るい雰囲気でも迎えてくれて良いスタートを切ることができました。2年生はいつも丁寧に教えてくれ、私たちのことを気にかけてくれる先輩です。現在は合同チームですが、来年は青洲高校のみのチームとなるので先輩たちが教えてくれたことを忘れず頑張りたいと思います。

後輩へ

佐野 太陽 (3年 身延中出身)

バドミントンではコートに立ってるのは1人か2人。でも練習中は励ましてくれる仲間がいるし、試合中は応援してくれる仲間がいる。チーム力が高ければ、練習への意識も高まっていくと思うから、いつでも互いを鼓舞し合える環境があるのは大切。だからこの市川高校バドミントン部の伝統をこれからも続けて欲しい。

市川の伝統とこれらに向けて

1年一同

3年生の皆さん、3年間お疲れ様でした。今年は、新型コロナウイルスの影響で一緒に部活動をする機会が少なかったですが、その中でも、時間を割いて私たちに指導をくださりありがとうございました。これからも、市川の伝統を引き継いで頑張っていきます。短い間でしたが、本当にありがとうございました。これからも頑張ってください。

陸上部

これまでとこれから

丹沢 知広 (1年 三珠中出身)

1年しかない私たち陸上部にとって、3年生が引っ張る他の部活動はいつも憧れの存在でした。先輩方のアドバイスで成長していく他の部の同級生から刺激をもらっていました。先輩方の様に後輩に信頼される先輩を目指します。良いものは引き継ぎ、これから私たちらしい部活動を創っていきます。



## 皆の仲がより深まった

商業科1年 川崎 希季(市川南中出身)

青洲高校に入学してからの生徒会の大きな行事、運動会。ぶっつけ本番だったので少し不安なところもあった。でも、そんな不安もなくなるくらいとっても楽しい運動会だった。私のクラスは順位に関係なく皆で楽しく参加しようという目標を立てた。当日はドキドキした。運動会が始まり、リレーや借り人競争、ダンシング玉入れ、障害物競争の応援で盛り上がった。今回の運動会をとおして、より皆との仲が深まったと思う。そして、生徒同士の仲だけでなく、先生方も普段よりコミュニケーションがとれた。市川高校と合同することによって、先輩方も楽しむことができた。とても楽しい思い出となった。

## 先輩方と関わる初めての行事

普通科1年 田中 友梨(市川中出身)

市川高校の先輩方とは今まで部活でしか関わる機会がありませんでした。なので、今回の合同運動会が初めて関わる行事となりました。私は運動会の準備や手伝いなどもしたので、近くで先輩方と関わって、やはり2、3年生はすごいと思いました。行動も速く、盛り上げるのも上手く、私も来年、再来年はこんな先輩になりたいと思いました。3年生はおそろいのピンをつけていたりして、とても団結力が強く、私たちとは全く違うと思いました。私たちが市川高校の2、3年生の近くで学べたことは本当によかったと思っています。これからももっとたくさん学んで伝統を引き継いでいきたいです。

## 初めての学校行事

普通科1年 秋山 未来(増穂中出身)

今年是最初で最後であろう全校での行事、運動会が行われました。コロナ禍の中、開催させてくれた生徒会や先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。私の中で一番印象に残ったのはリレーです。学年を越えた戦いは特に熱く、見ている側もとても緊張しました。部活動対抗というのも、それぞれの部のカラーがあって、中学校にはなかった新鮮さを感じられました。その他にも、ダンシング玉入れや借り人競争など、競技している人も見ている人も運動が苦手な人も楽しめている、そんな所がよかったと思いました。来年はマスクを外して、みんなの笑顔が見られたらいいなと思います。

## 楽しさで心がいっぱい

工業科1年 小林 亮介(田富中出身)

高校に入学して初めての行事で、ある意味、緊張していました。でも、運動会があったおかげで話したことの無い人も話すことができ、クラスの団結力が高まったと思います。コロナ禍で不安しかなかったけれど、その不安を打ち消すような楽しさで心がいっぱいになりました。自分はじゃんけんて負けて一番やりたくなかったダンシング玉入れになってしまいました。その時は「踊るなんて、恥ずかしい」と思っていたのですが、いざ運動会が始まると、恥ずかしさよりも楽しさが勝って、嫌だった玉入れも全力で頑張っていました。



友達、先輩、後輩の笑顔がたくさん見ることができた一日でした。それは、この日が「運動会」だったからだと思います。皆が頑張っている普段では見ることのできない姿を見ることができて、とても嬉しかったです。また、今年は一人一人のいすがなくレジャーシートに座ったり、立ってみたりすることのできる形をとってくれたので、マスクをしていても、他のクラスの人や学年の人と話がしやすい環境でした。競技では、している方にとっても、見ている方にとっても楽しく、とても充実した時間を過ごすことができ、時間があっという間に過ぎてしまいました。そこで、友達がいることのありがたさを感じました。友達がいてくれたからこそ、今回心から楽しむことができたので、感謝の気持ちでいっぱいです。

## 令和2年度 青洲高校・

# 秋の大

## 新しい日々の中での幸せ

2年 木下 和泉(田富中出身)

当たり前だと思っていた日常が今は新しい日々を感じる。そんな新しい日々の中で行われた合同運動会。今年開校した青洲高校の1年生とともにグラウンドで走り踊り楽しんだ。円陣を組むクラスや絶対に勝つという熱意あるクラス等があり、団結力がとても感じられた。特に、リレーでは一生懸命走る姿、応援の声があり、熱気にあふれていた。これが「運動会」なのだ改めて実感した。それぞれのクラスTシャツ、音楽が去年と変わらない風景で、とてもコロナウィルス感染症が流行っているとは思えなかった。終わった後もみんな笑顔でやりきった良い表情だった。新しい日々の中での幸せ。「楽しかった。」その言葉しか出てこない最高の運動会だった。



り、「皆が楽しんでくれることは、自分にとってこの上ない喜びだ。」と言う。この対話から「彼は自分の得意分野で人の役にたっていることに喜びを感じており、運動会という舞台上で自分を生かしているのだ。」と強く思った。ふと、周囲を見回すと、「こういうこと好きなんです。」と言いながら、MC(総合司会)として、軽妙なやりとりで、運動会を盛り上げているT君など、多くの生徒が得意そうにそれぞれの活動を行っていた。どの顔も生き生きとしている。

生徒達を見ていると、アメリカの思想家、エマーソンの言葉が浮かぶ。

「自分自身を最大限生かすのだ。あなたにとって確かな存在とは『自分』だけなのだから。」

自分のことをおろそかにせず、自分を生かしてこそ、人生に意味がある。生徒にはこの日のように、自分自身を生かす生き方を常に追求してほしいと思う。

## 合同運動会で感じたこと

2年 望月 美佑(田富中出身)

今年の運動会は例年と違った行事となりました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響でたくさんの行事が中止されている中、初めて、新しいクラスの団結力が発揮できる行事となりました。当日は新しくできた友達と楽しい一日を過ごすことができました。たくさんの制限がある中での開催だったけれど、クラスの仲間の新たな一面を知ることができたので、とても良い思い出になりました。2校が集まって初めての行事だったこともあり、私は生徒会として苦労したけれど、全校生徒の笑顔を見ることができたので、とても嬉しかったです。今年は暗い思い出ばかりだったけれど、明るく楽しい思い出を増やすことができた一日になりました。

## 何年経っても大切な思い出

3年 笠井 萌愛(六郷中出身)

高校生活最後の行事、最高の青春を過ごそうと迎えた秋の大運動会。新型コロナウイルス感染症の影響で不安もあったけど、生徒会・先生方のおかげでできることになって嬉しかった。高校3年生になって初めて最後の青春の日。皆の笑顔がいっぱいで、応援の声も校庭に響いていた。あ〜、市川の温かさはどこにも負けないんだろうな。一言で言えば最高。本当に楽しかった。全力で競技する仲間の姿も、楽しそうに写真を撮る仲間の姿も、胸に残る大切な思い出!代が変わっても何年経っても家族のような温かさを持つ学校であってほしいな。改めて、最後の青春をありがとう!市川・青洲高校!何年かしたらまた仲間達とこの思い出を笑って話そうと。

## 待ち焦がれた『同じ日』の共有

3年 加賀美 悠大(身延中出身)

新型コロナウイルス感染症の影響で学園祭や部活動の大会のほぼ全てが失われた2020年。3年生最後の日々が味気なく消えようとする中、今回、奇跡的に開催が決まった合同運動会。まずはこの行事が行えることに感謝したい。今年の運動会は「折角、合同でできるなら、もっと楽しいものを」と各場面でも多くの人(先生も含む)が盛り上がり取り組んでいた。もちろん、私もその一人だ。特に、生徒がプロデュースした3学年男性教員による本気のダンスは忘れられない思い出だ。今回の活動は私たち3年生にとって最初で最後の思い出であり、異なる学年をつなぐ最初で最後の「同じ日」になった。この貴重で素晴らしい行事に改めて感謝したい。

# 市川高校 合同運動会

## 最初で最後

3年 今村 歩夢(市川中出身)

今年の学校行事は最初で最後のものになってしまった。私たち3年生にとって高校生活最後の学校行事になってしまい、全力で楽しもうと思い、臨んだ。校舎は同じでも学校は違うということがたくさんの人が不安を抱えていたと思うが、成功させることができた。私たちのクラスは総合優勝できた。それは昨年からの悲願だった。昨年は2位で終わったので、「今年こそは。」とクラス全員で戦った。最後はクラスだけでなく学年での応援となった。それはとても感動するものだった。私たち3年生は学園祭もできずたくさん悔しい思いをしたので、その分、後輩たちには、来年思いっきり楽しんでもらいたいと思う。そして、青洲高校だけになっても続けていってほしいと思う。

## 最後の運動会

3年 村松 奏楽(浅川中出身)

新型コロナウイルス感染症の拡大によって最大の学校行事である学園祭が中止となってしまったが、その中で行われた運動会では最高の思い出をつくることができました。私が一番心に残った競技はダンシング玉入れです。ダンスを通して各学年各クラスの個性を見ることができました。さらに自分のクラスが競技をしていない時にも、他クラスの応援をしたり、他学年の生徒と話したり、クラス・学年・学校の垣根を越えて絆を深めることができました。最後に、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止しながらも、楽しい競技を企画してくれた生徒会の方々に感謝したいです。

## 心がつながった特別な運動会



## 校長室だより 69 [連載]

### 自分を生かす



市川高等学校長  
小林 智  
Satoshi Kobayashi

高校生活において重要な学校行事の一つに「運動会」がある。特に、新型コロナウイルス感染症により、学園祭を中止としたことで、失われた笑顔を生徒達に取り戻す行事の重要度は高まった。生徒が生き生きと笑顔で学校生活を送るためには、様々な人間関係の中で、自分で「自分という人間を生かしている」ことを実感する機会を多くすることが大切である。その意味において、「運動会」は絶好の機会である。

当日は絶好の運動会日和。さすが生徒達である。新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、コロナ禍を吹き飛ばし、皆の心が明るくなる工夫をしてくれていた。

今でもその情景が鮮明に残っているのは、「ダンシング玉入れ」という競技である。その名のとおり基本は玉入れ、曲がかかるものと同時に玉入れをやめ、ダンスをするというものである。生徒達は自分らしく最大限の表現をしようとして一生懸命だ。競技者だけでなく、曲に合わせて楽しそうに一緒に踊っている生徒もいる。その様子を見てみると、こちらもち心楽しくなり、自然と笑顔になる。いつの間にか、生徒や教職員に以前の明るい声、笑顔が戻っていた。

競技中、流れている音楽で気持ちが明るくなるので、生徒会本部のテントで音響担当をしていたK君に、誰が選曲したのか問うと、生徒からのリクエスト、約200曲から80曲程度を自分が厳選したと返答があった。音楽が大好きで、普段から音楽ライブラリーを編集してお

if  
ichikawa family

いちかわファミリー

+ Classi  
プラス

Spirit

仲間と共にガンバった笑顔、  
新しい出会いで生まれた笑顔  
全力で乗り越えた笑顔。  
全力で楽しむキラキラの笑顔たち。  
ifはそんなたくさんの笑顔で  
囲まれています。  
それは、ifの伝統とみんなの思いを  
未来につなげていきたいから・・・



笑顔・笑顔・笑顔の  
合同運動会になりました。

69

市川高校学校通信

ICHIKAWA Senior High School  
School Life Profile Paper,  
11月号  
ICHIKAWA Family vol.69 November 2020

発行 山梨県立市川高等学校

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門1733-2

tel.055-272-1161 fax.055-272-1164

URL. <http://www.ichikawa.kai.ed.jp/> Mail. [info@ichikawa.kai.ed.jp](mailto:info@ichikawa.kai.ed.jp)

発行日 令和2年11月19日

編集 市川高等学校 広報委員会